



新たな共有方法を提案する

VRマルチプレイ

Virtual Reality Multiplay



POINT

01

どんなに離れた
場所でも同じ

空間を共有できる

POINT

02

可能性を秘めた
この世に存在しない

モノを共有できる

POINT

03

「空間」や「モノ」を
共有することで

時間を共有できる

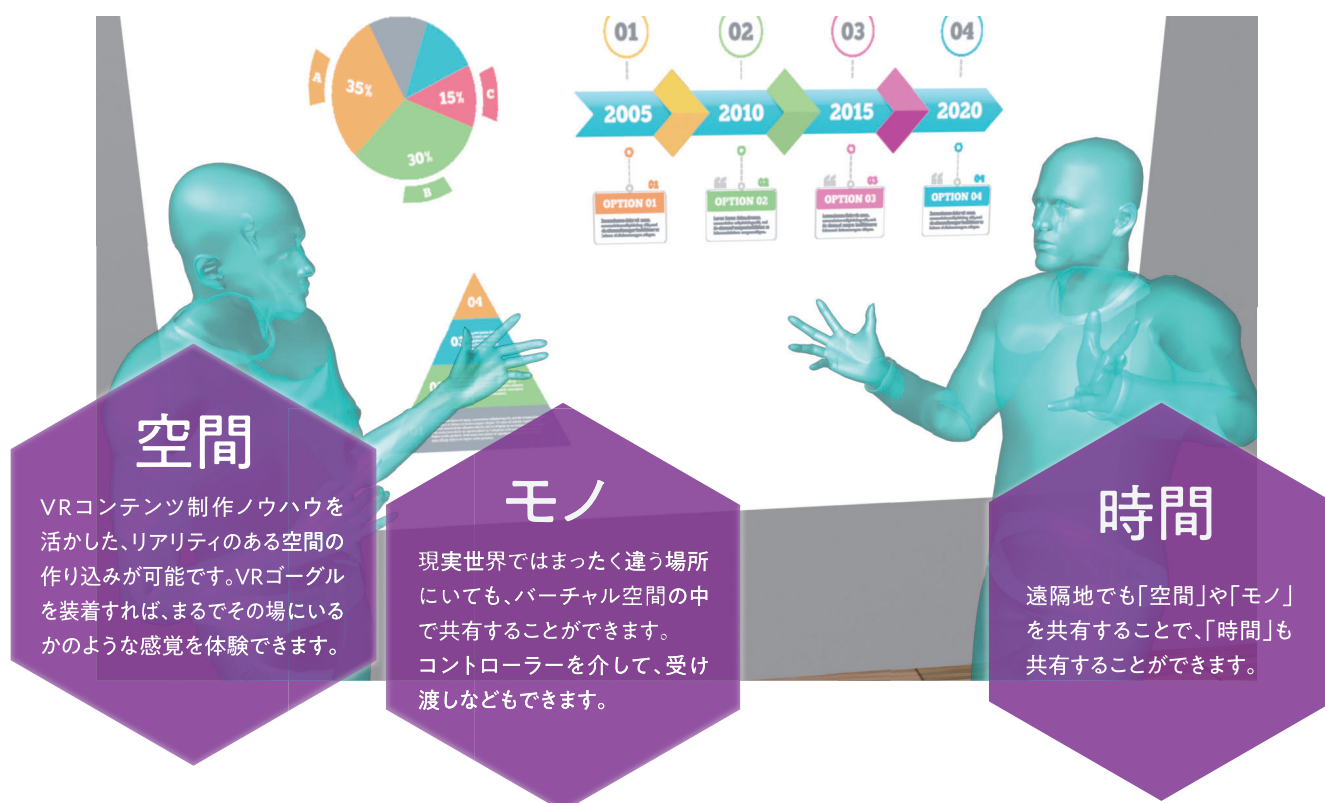
こんな困ったありませんか？

見取り図や設計図だけでは
いまいち完成形のイメージが
湧かない…

開発しているモノを
共有しながら会議したいけど
試作品は作れない…

面着での打合せでないと、
メンバーの空気感が
分かりづらい…

新たな共有のカタチ



SOLUTION 活用事例1

自動運転化に向けた車内空間の創造

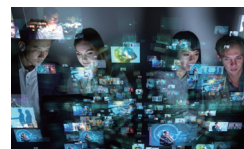
安心感や高揚感など、数値ではなかなか測ることができない感覚的な評価を、ドライバー以外の乗員も一緒に実施することができます。



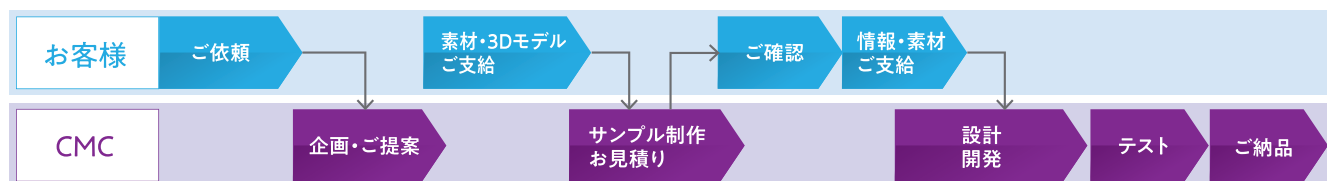
SOLUTION 活用事例2

バーチャルミーティング

バーチャル会議室の中では、使用する資料なども共有できます。同時に同じモノを見て・感じることができるため、会議の効率・質が大幅に向上します。



DEVELOPMENT FLOW 開発の流れ



問い合わせ先

CMC GROUP |  株式会社 シイエム・シイ

〒460-0021 愛知県名古屋市中区平和一丁目1番19号
TEL:052-322-3351 / FAX:052-322-9548
MAIL: xr@cmc.co.jp URL: <http://www.cmc.co.jp/>

●本紙に掲載の製品仕様は予告なく変更する場合があります。●掲載内容は弊社による独自の調査から得た結果であり、確実性を保証するものではありません。●本紙に掲載されている社名等は、弊社または各社の商標および登録商標です。
(2018.04)